

6月の行事予定

- | | |
|---------------------------|-------------------------|
| 6日(金) 第1回英検準会場 | 21日(土) 第4回公務員模試 |
| 7日(日) 第137回日商簿記検定 | 23日(日) 第78回全商簿記実務検定 |
| 9日(月) 前期中間考査～6/12 | 27日(金) 甲状腺検査(9:00～) |
| 11日(水) 1学年保護者会(14:00～) | 29日(日) 第51回全商ビジネス文書実務検定 |
| 13日(金) 総合学力マーク模試(3年)～6/14 | 7月2日(水) 煌南祭準備～7/4 |
| 14日(土) 県総体～6/16 | 7月5日(土) 煌南祭～6日 |
| 15日(日) 第128回全商珠算・電卓実務検定 | |
| 19日(木) 保健講話(3年) | |

この時期の取り組み!! それは毎日のノートと、テスト反省ノート!

今月は大事な中間考査があります。3年生にとってはこの中間と期末試験が推薦に向けて自分の成績が決まるとても重要な試験です。試験で良い点数を取りたい!誰しもが願うことです。ではどのようにしたら試験で高得点を取ることができるのでしょうか。その答えは意外と身近なところにあります。

①自分のノート

自分のノートは見やすいですか?みなさんこういった経験はないでしょうか。

「授業中は理解し、ノートもちゃんと取ったのに試験では点数が思ったほど取れなかった」その理由の大きな一つとして“ノートの取り方”があげられます。ここで、なぜ上手くノートをとることが大切かを考えてみましょう。

授業中は先生が板書をしています。更に板書してないことも言いながら生徒が分かりやすいように説明をしています。このような環境では授業を理解できるのは当たり前です。先生方が板書しながら、その板書を説明するために口頭でも説明を皆さんに浴びせているからです。であるからして心の中でも「よし!今日の授業は理解できたからテスト前にまた復習すれば大丈夫だ」と思ってしまいます・・・これが落とし穴なのです。お分かりいただけましたか?みなさんが自宅学習するときには板書の情報しかなく、絶えず口頭で皆さんに情報を浴びせてくれる先生の言葉はありません。極端に言うとノートは授業の中身の半分でしかないのです。結果「あれ?授業の時は分かったのになんだっけな・・・」という風になります。

授業中	①板書の視覚的情報	
	②教員の聴覚的説明	①+② = 理解
自宅学習	①板書のノート	
	③あいまいな記憶	①+③ = 理解不足



これで授業中と自宅では理解度がなぜ異なるか理解、納得できたでしょうか。このことから分かるように”良質のノート”が“高得点”には絶対に不可欠ということなのです。

では、どのようなノートが“良質なノート”なのか。次のページをご覧ください。

良質なノート、それは「目的のあるノート」

きれいにまとまっていて、色もたくさん使い分けられていて、下線、罫線は必ず定規を使っている・・・このようなノートを見たことがありますか。こういったノートは大体「きれいなノートを取ったこと」に満足をしています。皆さんのノートを取る目的は単純明快です。それは「定期テスト、入試で高得点を取ること」です。

丁寧に、きれいに取るあまり、書くのに一生懸命になりすぎてその間に先生方が話している言葉を聞き逃していませんか？もちろん、見やすい、きれい、は大事な要素ではありますが、必要以上にそうである必要はないのです。大事なのはノートを取りながらも先生の言葉に耳を傾けることです。なので、板書はなるべく早く、きれいに。そして先生が指摘しているポイントなどをいつでも書き込めるようにある程度の余裕をもって取ることです。「ノートがもったいないから」といってびっしり取る生徒がいますが、これは後々見直しても見づらいただけです。

そしてもう一つ大事なポイントは「後々見直しても理解できるノート」であることです。先生方は最も大事なことは板書するでしょうが、それ以外にも板書しなくても大事なポイントを言っています。「今大事なこと言っているな」と思ったら吹き出しを書いて情報を足しておきましょう。自分だけが理解できればいい言葉でいいのです。しかし、確実に自宅学習するときに復習を助けてくれる言葉を書いておきましょう。もちろんどの情報が大切であるかないかを聞き分ける力も必要ではあります。

まとめると・・・

- ① スピーディーに
- ② ある程度の余裕を持って（余白）
- ③ 板書されていないこともメモをとる
- ④ 見直したときにもポイントを理解できる言葉で書いてある



ではここで蛍雪時代6月号の合格する人のノートの特集からの抜粋を見てみましょう。

伸びる人のノート：

- ① 正解を導くためのノート
- ② 記憶や回答のための工夫がたくさん
- ③ 何度も見直されている

伸びない人のノート：

- ① 書くことが目的になっている
- ② ただノートに書き写すだけ
- ③ 書きっぱなしで見直しなし

どうですか？自分はどのタイプに当てはまりますか？

更に以下は大事なポイントをまとめたものです。

合格ノート術10の方法

- ① 関連情報の追加
- ② 記憶のきっかけを記入
- ③ コピーの添付
- ④ 色ペンの使い分け
- ⑤ マーカーでチェック
- ⑥ ビジュアルの追加
- ⑦ 誤り→訂正の課程を記入
- ⑧ 余白を確保する
- ⑨ 弱点の明記
- ⑩ タブシールの活用



詳細は蛍雪時代6月号に記載されています。まずはそこをチェックすることから始めよう！

テスト反省ノート（模擬試験を含む）

皆さんは年間にいくつも試験を受けています。定期考査、課題テスト、模擬試験。これら全てが入試、就職試験などに出題される問題のリハーサルなのです。ならば、「学校の試験だから関係ない」、ではなく、「次はこの問題を間違えないぞ！」とその都度覚えていった方が効率が上がると思いませんか？

やり方は簡単です。不正解であった問題をノートに書き写します。そこにまずその問題の解説を書きます。この解説の中には要点以外に、間違いやすい理由なども明確に記載しておくことを進めます。意外と、一度間違えた問題は復習してもまた間違えることがよくあります。せっかく「間違えた」ことにより経験値が上がったので、その経験値を無駄にしないようにしましょう。間違った問題からも偏差値を上げるヒントを得ることが大事です。

要点をノートにまとめたら正解の回答を10回練習します。教科によって書き方に差は出ますが、例えば英語であればその英文や単語を10回ずつ書くといいでしょう。

どうですか？色々な「ノート」のことを書きましたが、明日から取り組めるものばかりです。勉強で大切なのは一番時間をかけている「毎日の授業」「毎日の自宅学習」を質の良いものにすることです。試してみてください。

参考文献：蛍雪時代6月号（進路室の前の棚に1冊あります。黄色いやつです。）

進路室の扉をたたこう！

進路資料室には皆さんの希望する進路を実現するために役立つ資料や情報がぎっしりつまっています。いかにこれらの情報を活用するかが皆さんの成功につながるといっても過言ではないでしょう。（特に先輩方が残してくれた受験報告書は面接や小論文の出題傾向などを知る絶好の資料です。）先輩方も積極的に進路室に足を運び、情報を収集していました。隣には進路指導部の先生方が常駐しています。進路に関する様々な疑問や悩みなど何でも相談してください。前向きに頑張る皆さんを応援していきます。

◆資料室・1F教室の利用時間

朝：朝自習の始まる8時15分まで。昼休み：12時25分～13時5分。放課後：19時まで。

※10分間の休み時間も利用できますが、授業には遅れないようにすること。また、進路に関わる会議が開かれる日には、その時間帯は使用できません。

◆進路室への入室の際はコート類などは脱ぎ、身だしなみを整えてから「失礼します。〇年〇組の〇〇です。〇〇で（用件を述べる）参りました。」と元気よく挨拶し、許可を得てから入室すること。皆さんの面接練習にもなるはずです。また、進路室には毎日進学、就職関係のお客が大勢いらっしゃいます。外部の方に南高生の姿を見られてしまう場所であることを覚えておいてください。ここは皆さんと社会をつなぐ場所です。進路室および1F教室と進路資料室から職員玄関前の廊下でのだらしない服装や携帯電話の操作（放課後も）、大声での談笑は慎んでください。授業で1F教室を使う場合も同様です。（1F教室での飲食も禁止です。）

◆資料室で利用した本や資料はきちんと元の場所に戻しましょう。乱雑になっていることに気付いたら整理しましょう。なお、資料室では進路に関する調べものだけにして、学習は1F教室を使用して下さい。

◆貴重品の自己管理をすること。資料室を利用する際は手荷物を持って入室してかまいません。

◆資料室の本・雑誌類はほとんどが貸し出し可能です。（1泊2日）貸し出し簿に必要事項を記入して、

進路室の先生に許可のサインをもらって下さい。返却の際もサインが必要です。

- ◆受験報告書や求人票、赤本等は進路指導室でコピーできます。(1枚10円。ノート類のコピーは不可です。)
- ◆自分の探している資料がどこにあるかわからない、どの資料をみたらいいのかわからない、資料の見方がわからないといった疑問は遠慮せずに進路指導室の先生に相談してください。
- ◆進路指導室前の廊下には、オープンキャンパスや外部の進学相談会等の案内など、進路関係の情報が掲示されています。廊下の各クラス別ボックスの上に置いてある資料は各自持って行ってかまいませんが、進路の先生に一声かけてください。
- ◆進路資料室のパソコンを使って、大学等について調べることができます。使用の際は、進路指導室の先生に一声かけてください。

ここに蛍雪時代に載っているノートのサンプルを乗せておきます！蛍雪時代にはちゃんとカラーで載っているのを見に来て下さい！！